



TITLE:

留学研究員(物性研25周年に寄せて-1-)

AUTHOR(S):

岡本, 幸雄

CITATION:

岡本, 幸雄. 留学研究員(物性研25周年に寄せて-1-). 物性研究 1983, 39(6): 302-302

ISSUE DATE:

1983-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/90853>

RIGHT:

留 学 研 究 員

北大・工 岡 本 幸 雄

学生時代、He II・その臨界現象を勉強していました。現在、北大・工・共通講座の助手で、低次元系（の整合 - 不整合相転移）を理論的に研究しております。物性研との関わりは、学生時代の最後に留学研究員として行ったのが初めです。物性研に行く目的は明瞭でなく、その結果、3ヶ月間の滞在中には直接論文に結びつくようなものはなかったのですが、この滞在は、私にとって大きな節目になりました。というのは、就職してから現在に至るまで低次元系の研究をしておりますが、この方向を決めるうえで重要な因子になったからです。その他、具体的な収穫も多くあり、思い出もありますが、ここでは触れません。その後、就職してから、年に一度程度、施設利用を利用させていただいております。毎回、私にとって意味あるものになっています。

物性研を利用した事が大きな節目になった者として、簡単ですが一言書いてみた次第です。